

プレスリリース

令和2年8月吉日

笠間市笠間 978 - 4  
公益財団法人日動美術財団  
笠間日動美術館

梅原龍三郎と藤田嗣治  
FRANCE⇄JAPON UMEHARA et FOUJITA  
2020年10月3日(土)～12月13日(日)



梅原龍三郎 1911年、パリにて



藤田嗣治(中央) 1934年、日動画廊前にて  
長谷川仁・林子夫妻と共に

拝啓

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。平素はご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。  
今秋、笠間日動美術館では、「梅原龍三郎と藤田嗣治 FRANCE⇄JAPON UMEHARA et FOUJITA」を開催することとなりました。

つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

■ 開催趣旨

奔放な筆さばきと壮麗な色彩で知られる梅原龍三郎と、繊細優美な「乳白色の裸婦」を描いた藤田嗣治。一見正反対の性質を持つこの二人、実はいくつもの共通点が隠れています。日本で洋画教育を受けた二人は20世紀初頭に渡仏し、そこで梅原はルノワールやルオー、藤田はエコール・ド・パリの画家たちと出会います。その後梅原は岩絵具を、藤田は日本の筆と墨を油彩画に取り入れる技法を確立しますが、それは逆説的ながら、フランスにおけるさまざまな体験が誘引したものと言われています。本展では、梅原と藤田の作品及び、彼らが傾倒した画家や影響を及ぼしあった画家たちの作品を展示。フランスに渡った二人の画家の軌跡をご覧いただければ幸いです。

## ■ 主な出品作家

梅原龍三郎、藤田嗣治、オーギュスト・ルノワール、ジョルジュ・ルオー、パブロ・ピカソ、マリー・ローランサン、シャイム・スーチン、オシップ・ザッキン他

## ■ 出品作品紹介

梅原龍三郎、藤田嗣治の作品掲載については、担当にお問い合わせください。



マリー・ローランサン 《バラ色の帽子の女》  
1929年



ジョルジュ・ルオー 《若い道化》  
1935-39年



シャイム・スーチン 《路上の二人の子供》  
1939年

## ■ 展覧会概要

- ・展覧会名 「梅原龍三郎と藤田嗣治 FRANCE⇄JAPON UMEHARA et FOUJITA」
- ・会期会場 2020年10月3日（土）～12月13日（日）／笠間日動美術館 企画展示館
- ・主催 公益財団法人 日動美術財団
- ・後援予定 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会  
朝日新聞社水戸総局／茨城新聞社／茨城放送／東京新聞水戸支局  
毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／産経新聞水戸支局／NHK 水戸放送局
- ・開館時間 午前9時30分より午後5時（入館受付は4時30分まで）
- ・休館日 毎週月曜日（但し11/23は開館、11/24は休館）
- ・入館料 大人1000円、65歳以上800円、大学・高校生700円、中学生以下無料  
（20名以上の団体は各200円割引、障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は各半額割）

## ■ 会期中のイベント

- ・学芸員によるギャラリートーク、他

## ■ 交通案内

### [JR 利用]

- ・常磐線友部駅(9:50/10:50/11:50 発)より『かさま観光周遊バス』(100 円) または市内循環バスで約 15 分。「日動美術館入口」下車徒歩 2 分。
- ・水戸線笠間駅より徒歩約 20 分(日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆)『かさま観光周遊バス』またはレンタサイクルの利用が便利です。

### [自動車利用]

- ・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6 km
- ・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8 km

### [高速バス利用]

- ・『関東やきものライナー』秋葉原(8:20 発)で約 2 時間弱「笠間稲荷神社入口」下車徒歩 10 分(片道 1650 円往復割引あり)

## ■ 問い合わせ先(担当:西尾/塚野)

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館

TEL: 0296-72-2160 FAX: 0296-72-5655 MAIL: [m-nishio@nichido-museum.or.jp](mailto:m-nishio@nichido-museum.or.jp)

以上